

科目名		授業形態	担当教員名	
公衆衛生学		講義・演習	小野 一男・井村 聡子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
公衆衛生学の目的は、全ての人を対象とした健康の保持、増進、寿命の延伸、疾病の予防である。本科目では、環境汚染や社会・疾病構造の変化および医療の現状と課題を解説し、健康と生活の質(QOL)およびプライマリーヘルスケア(PHC)やヘルスプロモーション(HP)の概念を学ぶとともに、地域社会住民や施設集団におけるセルフケアの重要性と医療従事者の果たす役割を考察する。また世界観に基づく比較論的アプローチで国際医療すなわちGlobal Healthを学ぶ。一方、生活環境の進展に伴う肥満や生活習慣病など健康に関わる課題について、科学的な分析と解析を行い、社会集団における健康を科学的に理解し、疾病予防を図る。				
授業の到達目標				
現在の公衆衛生の問題について、理解し、自身の意見を述べるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	健康の概念と公衆衛生学			
2	人口統計			
3	保健統計			
4	地域保健			
5	疫学			
6	母子保健			
7	学校保健			
8	成人保健			
9	高齢者保健			
10	感染症・食品衛生			
11	国民栄養			
12	環境保健			
13	精神保健・産業保健			
14	社会保障と社会福祉			
15	国際保健			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	筆記試験		
レポート	0%			
小テスト	0%			
平常点	0%			
その他	30%			
自由記載	評価は筆記試験（70%）およびその他【①発表、②課題提出、③受講態度】（30%）により評価を行う。 筆記試験は得られた得点で評価する。 その他は①発表は授業中に実施する発表の内容、②課題提出はレポートなどの提出物の内容、③受講態度は、私語やスマートホンなどの機器類の使用に関し特に悪いと判断した場合に評価を下げる。			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
よくわかる専門基礎講座公衆衛生	松本秀明	金原出版株式会社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				